究への準備を滯りなくすませた。研究の方法として、討議に終始するのでは、皆のもつている智識の一定の限界に至ると、それ以上研究を深めることが出來ないということが、回を重ねるにつれわかつた。そこで問題選定、方向ずけが討議で決定したら、グループで檢討しあい大いに圖書館を利用し、指導者の示唆や、學識經驗者の意見を徴したり、また見學などをなすという樣に發展した。

なお問題選定については盛んなディスカッションが行われ、「保育所と幼稚園の問題」「小學校一年入學初期の指導について」「家庭環境の問題」の研究の重要がとかれ、これらも棄てがたいので有志が個人研究をするということにきまつた。第二日は副主題でわかれたグループが、それ〴〵の問題に對してディスカッションを行つて研究の方向づけをして參考書をしらべ各縣より持ちよりの參考資料によつて研究をすゝめていつた。第三日目は各グループで觀察の觀點をもつて鳥取縣立鳥取西高等學校附屬久松幼稚園を參觀し、懇談會では保育所と幼稚園の問題が活潑に論議された。第四日目は小班毎に中間發表をして、相互の研究に關連をもたせて更に研究を深めていつた。第五日目は、大体、四日間の成果をまとめて、結論へと運ばれた。この日は幼兒教育に對してその振興に大きな援助を與えておられるアンブローズ女史が御忙しい中を時間をさいて、アメリカの幼稚園教育についてお話し下され、有意義な時を過した。その研究の成果は紙面の都合上追つて發表する。

山靜保育研究會

靈峯富士を狹んで山梨・靜岡兩縣の保育關係者は日頃密接な提携をしてきているが、その一として第二回研究會を去る十一月二十五六日の兩日伊豆溫泉鄕長岡に於て開催した。

參加者約二百六十名。

○開會式　司會者　靜岡横内幼稚園長　山田綱達

一、開式の辭　靜保連副會長　草分實

二、挨拶　吉原嘱保育園長　鈴木信政

三、祝辭　靜保連會長　淡路貞熙

全保連副委員長　小林徹

甲府市厚生課長　山本松市

山梨縣同胞援護會長　松永一雄

靜岡縣教委指導課長　池田政弘

四、祝電　同　兒童課長　小川正通

同　援護會長代　鶴見瑞弘

五、挨拶　全保連委員長　後藤鈴枝

山保連會長　林輝彦

小笠原隣保館長

六、保育歌　靜大附屬幼稚園

七、閉會の辭　靜保連東部支部長　林成子

沼津ルンビニ幼稚園長

○研究協議會　司會者　靜岡櫻花幼稚園長

一、開會のことば　おとぎ座主幹　岡部令司

二、人形劇の實地指導　文部事務官　玉越三朗

三、研究協議

(イ)　幼兒教育の最近の動向について

(ロ)　保育カリキュラムについて

（八）保育の實際指導及指導要錄について
（ニ）其他

時間のたつのも忘れて熱心に協議をつゞけ、いつしか秋の陽は山の彼方にすつかり沈む。御臨場いたゞける豫定だつた文部省IFEL幼稚園指導講師ルイス博士と御茶の水女子大學周郷教授御二方の御缺席を參加者一同非常に殘念がる。時に六時半。一先ず協議會を閉じて夜の懇親會とレクリエーションに移る。レクリエーションには天野信宏氏の舞踊と實地指導・靜岡のちやつきり節。山梨のスクエアダンス更に靜岡の最長老、清美幼の吉田園長がお得意の春高樓の踊りに達者な所を見せるなど歌と踊りの賑やかな催しが繰りひろげられ歡樂の夜は更けて行つた。

翌朝九時、明け方からばらつき出した秋雨を衝いて貸切バスに分乘、溫泉郷を後に三津海岸水族館に向う。この頃から太陽もにこやかな顏を見せ始め、遙か駿河灣を距てて富士の麗姿も秋空にくつきりと浮ぶ。水族館の見學を終え、お噺ぎの龍宮丸に乘船して西浦へ。鈴なりの黃金の玉、晝食を攝りつつその味覺と色覺に一同快哉を叫ぶ。十二時半、御土產のみかん籠を手に手に名殘りを惜みつゝ再び乘船、約一時間の船路を伊豆の山々に見送られつゝ沼津へ、驛頭に於て來年の地區大會に再會するを約し、數々の樂しい想出を殘して山靜大會を終幕した。この大會のために後援して下さつた靜岡縣同胞援護會・「あそび」・「キンダーブツク」・「ひかりのくに」の方々に衷心より感謝の意を表する。特に援護會の方々には總動員で我々參加者のために二日間到れり盡せりの献身的サービスをして下さつた事は到底筆舌には盡せない。この紙上を籍り滿腔の感謝を捧げて擱筆する。（一九五〇、一二八記、山靜保育研究會寄）

教育指導者講習會（IFEL）第一次幼稚園教育終了

既報のIFEL講習は九月十八日より十二週間の過程を了えて、十二月八日に東京學藝大學竹早分校講堂において芽出度き終了の式が擧げられた。

先に述べた樣に、全國公私大學長及び短期大學（部）長・都道府縣教育委員會。都道府縣知事等から推薦された人々を、更に文部省で詮衡委員關係係官で詮衡を行い、選ばれた二十五名の内、出願ののちにいろ〳〵の支障が出來た人もあつて、結局講習を受けられた方々は十九名であつた。日本側專任講師は、お茶の水大學教授周郷博氏で終始中心となつて講義、研究、グループ指導に力を注がれた。米人講師としてはアメリカ合衆國文部省初等教育課顧問――ガートリール・ルイス博士が來朝され、その高き人格、幼兒教育に關する識見、該博なる知識、それは觀念的な幼兒教育學ではない。全く幼兒の側にたち幼兒一人一人に即してつまれた御研鑽、御經驗による殊玉のようなもの。講習に對する責任と努力、つねに日本人側講師をたてられて謙虛な態度を示される、自然なその